

## 閣議及び閣僚懇談会議事録

開催日時：令和元年12月27日（金） 9：08～9：19

開催場所：総理大臣官邸閣議室

出席者：安倍晋三 内閣総理大臣

麻生太郎 国務大臣（副総理，財務大臣，内閣府特命担当大臣）

高市早苗 国務大臣（総務大臣，内閣府特命担当大臣）

森まさこ 国務大臣（法務大臣）

茂木敏充 国務大臣（外務大臣）

萩生田光一 国務大臣（文部科学大臣）

加藤勝信 国務大臣（厚生労働大臣）

江藤拓 国務大臣（農林水産大臣）

梶山弘志 国務大臣（経済産業大臣，内閣府特命担当大臣）

小泉進次郎 国務大臣（環境大臣，内閣府特命担当大臣）

河野太郎 国務大臣（防衛大臣）

菅義偉 国務大臣（内閣官房長官）

田中和徳 国務大臣（復興大臣）

武田良太 国務大臣（国家公安委員会委員長，内閣府特命担当大臣）

衛藤晟一 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

竹本直一 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

西村康稔 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

北村誠吾 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

橋本聖子 国務大臣（東京オリンピック・パラリンピック担当大臣，内閣府特命担当大臣）

欠席者：赤羽一嘉 国務大臣（国土交通大臣）

陪席者：西村明宏 内閣官房副長官

岡田直樹 内閣官房副長官

杉田和博 内閣官房副長官

近藤正春 内閣法制局長官

閣議案件：別添案件表のとおり。

○一般案件 3件

○政令 1件

○人事 6件

○配布 1件

いずれも，案件表のとおり，決定，了解等となった。

議事内容：

○菅国務大臣：ただ今から、閣議を開催いたします。

まず、閣議案件について、岡田副長官から御説明申し上げます。

○岡田内閣官房副長官：一般案件について、申し上げます。「中東地域における日本関係船舶の安全確保に関する政府の取組」について、御決定をお願いいたします。本件は、中東地域における平和と安定及び日本関係船舶の安全確保のため、我が国独自の取組として、同地域の緊張緩和と情勢の安定化に向けた更なる外交努力や自衛隊による情報収集活動等を政府一体となって実施することとするものであります。あわせて、海上警備等手当の支給される職員の範囲を拡大し、現地に派遣される職員に対して、当該手当を支給することとする「防衛省の職員の給与等に関する法律施行令の一部改正政令」について、御決定をお願いいたします。

次に、人事案件について、申し上げます。まず、茂木外務大臣が各国政府要人との会談等のため1月5日から11日まで、加藤厚生労働大臣が1月2日から5日まで、河野防衛大臣がジブチ国及びオマーン国政府要人との会談等のため本日から30日まで、竹本内閣府特命担当大臣がフィリピン国政府要人との会談等のため1月2日から5日まで、及び、1月7日から10日まで、橋本東京オリンピック・パラリンピック担当大臣がオリンピック・パラリンピック関係者との会談等のため1月7日から12日まで、それぞれ海外出張等されますので、御了解をお願いいたします。

次に、特命全権大使木寺昌人外7名を願いに依り免ずること、特命全権大使香川剛廣の自由貿易・経済連携協定交渉に参加するための日本政府代表を免じ、環太平洋パートナーシップ協定等を担当するための日本政府代表を命ずること、及び、フランス国駐箚大使伊原純一に兼ねてアンドラ国等駐箚を命ずることを承認することについて、それぞれ御決定をお願いいたします。

次に、元衆議院議員中曾根康弘を従一位に叙し、大勲位菊花章頸飾を授けること及び、芝崎茂夫外803名の叙位、叙勲又は紺綬褒章の授与等について、それぞれ御決定をお願いいたします。なお、慶應義塾大学名誉教授速水融を従三位に叙するものがあります。

次に、配布資料といたしまして、「労働力調査報告」があります。本件につきましては、後程、総務大臣及び、関連して厚生労働大臣から御発言があります。

次に、件名外案件について、申し上げます。「円借款の供与に関する書簡」をベトナム及びフィジーとの間にそれぞれ交換することについて、御決定をお願いいたします。ベトナムとの書簡は、「下水排水処理計画」に約119億円を、フィジーとの書簡は、災害発生後の資金需要に対応する「災害復旧スタンド・バイ」に50億円を、それぞれ限度とする円借款を供与することについて、取り極めるものであります。なお、書簡交換の日は、ベトナムが令和2年1月6日、フィジーが本日であり、それまで不公表といたしたいので、御了承をお願いいたします。

○菅国務大臣：次に、大臣発言がございます。まず、総務大臣。

○高市国務大臣：本日、労働力調査結果を公表いたしました。その主なポイントは、

次のとおりです。11月の就業者数は6,762万人と、1年前に比べ53万人の増加、完全失業者数は151万人と、1年前に比べ17万人の減少となりました。季節調整値で前月からの増減をみると、就業者数は11万人の増加、完全失業者数は15万人の減少となりました。完全失業率は2.2%と、前月に比べ0.2ポイントの低下となり、約26年ぶりの低い水準で推移していることなどから、雇用情勢は着実に改善しています。

○菅国務大臣：次に、厚生労働大臣。

○加藤国務大臣：令和元年11月の有効求人倍率は、季節調整値で1.57倍と、前月と同水準となりました。また、正社員有効求人倍率は1.13倍と、こちらも前月と同水準となりました。

求人・求職の動向や、総務大臣から報告のありました労働力調査の結果をみますと、現在の雇用情勢は、着実に改善が進む中、求人が求職を大幅に上回って推移しています。

令和元年度補正予算案や令和2年度予算案に必要な施策を計上するなど、今後とも、女性・若者・高齢者等の活躍推進、正社員就職の促進等に着実に取り組んでいきます。また、令和元年台風第19号などにより被災した地域については、雇用の維持をはじめ、被災された皆様への支援に全力で取り組んでいきます。

○菅国務大臣：次に、内閣総理大臣から2件御発言がございます。

○安倍内閣総理大臣：まず、自然災害をはじめとした緊急事態に適切に対処し、国民の生命と財産を守ることは、政府に課せられた重大な責務です。各位におかれては、年末年始においても、緊張感を持って、危機管理に万全を期していただくようお願いいたします。

次に、茂木大臣ほか4人の大臣は、それぞれ海外出張等いたしますが、その不在中、菅内閣官房長官を外務大臣及び防衛大臣の臨時代理に、衛藤晟一大臣を厚生労働大臣の臨時代理に、江藤拓大臣をクールジャパン戦略、知的財産戦略、科学技術政策及び宇宙政策担当大臣の事務代理に、森大臣を男女共同参画担当大臣の事務代理に、それぞれ指定又は命じることといたします。

○菅国務大臣：これをもちまして、閣議を終了いたします。

引き続き、閣僚懇談会を開催いたします。

武田大臣から御発言がございます。

○武田国務大臣：先月の閣僚懇談会における総理の御指示を踏まえ、来年度から、子供が生まれた全ての男性国家公務員が、1か月以上を目途に育児に伴う休暇や休業を取得できるよう、検討を進めてまいりました。この度、各府省の協力も得て、具体的な方策を取りまとめましたので、御報告します。

この取組では、上司である管理職員が主体となって、1か月以上の休暇や休業の取得を前提に対象職員に勧奨した上で、取得計画を作成し、必要な業務分担の見直し等を事前に行うこととしております。また、各府省の幹部職員は、強力なメッセージの発信や、取組状況の確認と必要な対策の実施を行うこととするとともに、人事当局も積極的に関与することとし、幹部・管理職員等の取組状況は、人事評価に

も適切に反映することとしています。

各府省においてしっかりと取り組んでいただけるよう、内閣人事局において周知・啓発等に係る支援を積極的に行ってまいりますので、各大臣におかれましても、対象職員が休暇や休業を取得できるよう御尽力をお願いいたします。

○菅国務大臣：なお、海外出張された文部科学大臣の帰朝報告は、お手元の資料のとおりです。

ほかに御発言はございますか。

無いようですので、以上をもちまして、閣僚懇談会を終了いたします。

閣 議 案 件 〔 令 和 元 年 〕  
12 月 27 日 ( 金 )

資 料 あり  
資 あり  
◎ 一 般 案 件  
○ 中 東 地 域 に お け る 日 本 関 係 船 舶 の 安 全 確 保 に 関 す  
る 政 府 の 取 組 に つ い て ( 決 定 )  
( 内 閣 官 房 ・ 外 務 ・ 防 衛 省 )

資 料 あり  
資 あり  
◎ 政 令  
○ 防 衛 省 の 職 員 の 給 与 等 に 関 す る 法 律 施 行 令 の 一 部  
を 改 正 す る 政 令 ( 決 定 ) ( 防 衛 ・ 財 務 省 )

資 料 な し  
資 あり  
◎ 人 事  
☆ 外 務 大 臣 茂 木 敏 充 外 4 名 の 海 外 出 張 等 に つ い て  
( 了 解 )  
○ 特 命 全 権 大 使 木 寺 昌 人 外 7 名 を 願 に 依 り 免 ず る こ  
と に つ い て ( 決 定 )  
〃 ☆ 特 命 全 権 大 使 香 川 剛 廣 に 環 太 平 洋 パ ー ト ナ ー シ ッ  
プ 協 定 等 を 担 当 す る た め の 日 本 政 府 代 表 を 命 じ ,  
自 由 貿 易 ・ 経 済 連 携 協 定 交 渉 に 参 加 す る た め の 日  
本 政 府 代 表 を 免 ず る こ と に つ い て ( 決 定 )  
〃 ○ 各 府 省 幹 部 職 員 の 任 免 に つ き , 内 閣 の 承 認 を 得 る  
こ と に つ い て ( 決 定 )  
〃 ○ 元 衆 議 院 議 員 中 曾 根 康 弘 の 叙 位 及 び 叙 勲 に つ い て  
( 決 定 )  
〃 ○ 元 東 京 都 公 立 学 校 長 芝 崎 茂 夫 外 8 0 3 名 の 叙 位 ,  
叙 勲 又 は 紺 綬 褒 章 授 与 等 に つ い て ( 決 定 )

◎ 配 布  
☆ 労 働 力 調 査 報 告 ( 総 務 省 )

[ ○ 署 名 あり ☆ 署 名 な し ]

件名外案件

〔令和元年〕  
12月27日〕（金）

資料なし

- ◎一般案件
- 1. 円借款の供与に関する日本国政府とベトナム社会主義共和国政府との間の書簡の交換
  - 1. 円借款の供与に関する日本国政府とフィジー共和国政府との間の書簡の交換
- について（決定）（外務省）

〔○署名あり ☆署名なし〕